

区 分	事 項 名	部 名
参考資料	日本短角種の産肉能力検定(間接法)成績	肉 牛 部
1、 背景とねらい 集団育種推進事業の直接検定により選抜された上位4頭の種雄牛について、その産子(去勢牛)10頭を308日間肥育した後、屠殺解体を行ない、産肉能力(肉量・肉質)について調査したので参考に供する。 2 技術の内容 1) 発育 雲光、波崎、波花の3頭のD.Gはそれぞれ1.07kg、1.06kg、1.04kgとなり、昭和65年度の改良目標である1.0kg/日を上回る良好な増体を示し、光山も0.99kg/日とほぼ改良目標に近い成績を示した。 2) 飼料要求率 1kg増体に要したTDN量は波花の6.52kgのみが改良目標を達成していた。また波崎は6.90kgと改良目標は達成しなかったが47～56年までの24組の平均7.00kgを上回っていた。 3) ロース芯面積(第5～第6肋骨間) 今回検定を行なった4頭とも改良目標の40cm²を上回った。特に波花は46.1cm²と極めて広かった。 4) 脂肪交雑および枝肉格付 雲光、光山、波花の3頭が県畜試の調査でそれぞれ1.34、1.06、1.54となり、脂肪交雑F₁以上であった。また4頭ともほぼ中規格以上であった。 3. 指導上の留意事項 今回の調査では流通センターの計量器に故障があり屠殺前体重が計れず欠測となっている。		

検定牛	雲 光	光 山	波 崎	波 花	47～56年 までの平均
生年月日	54.3.13	54.3.2	54.3.1	54.3.19	(24頭)
登録番号	本才398号	本才448号	本才414号	本才415号	
直接検定実施場	54	54	54	54	
D.G.	1.42 ^{kg}	1.37	1.25	1.18	
産 地	川井村	岩泉町	岩泉町	滝沢村	
開始時体重	276.1 ^{kg}	255.1	260.3	242.2	232.7
終了時	604.5 ^{kg}	561.1	587.2	563.1	536.1
D.G.	1.07 ^{kg}	0.99	1.06	1.04	0.97
肥育度指数	472.6	439.4	461.0	438.2	424.5
濃厚飼料摂取量	2,400.5 ^{kg}	2,261.5	2,351.8	2,173.7	2,181.6
粗飼料	1,038.3 ^{kg}	969.2	982.3	920.6	1,010.0
1kg増体当たり					
濃厚飼料	7.31 ^{kg}	7.39	7.19	6.77	7.18
粗飼料	3.16 ^{kg}	3.17	3.00	2.87	3.34
DCP	0.90 ^{kg}	0.91	0.89	0.84	0.96
TDN	7.08 ^{kg}	7.14	6.90	6.52	7.00
屠殺前体重					500.6
冷屠体重	344.0 ^{kg}	318.2	342.7	325.6	304.0
(終了時に対し) 冷屠体枝肉歩留	58.5	56.3	58.0	57.2	60.9
ロース芯面積	42.8	41.5	41.5	46.1	34.1
皮下脂肪厚	1.8	1.5	2.3	1.7	1.9
脂肪交雑	0.79(1.34)	0.51(1.06)	0.46(0.91)	0.76(1.54)	(1.11)
格 日格協	中 6 並 3	中 2 並 8	並 10	中 4 並 6	
付 県畜試	上 3 中 4 並 2	上 1 中 7 並 2	中 7 並 3	上 1 中 8 並 1	上 14.1% 中 61.3 並 24.6

※ 表中・脂肪交雑の実数は日格協・()中は県畜試調べによる。 (4)